

米国 製造業は広がりを持った緩やかな拡大継続(14年6月ISM製造業景気指数)

発表日：2014年7月1日(火)

～新規受注、生産が牽引。インフレ圧力は限定的～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治

03-5221-5001

ISM製造業景気指数の推移

| | 総合 | 新規受注 | 生産 | 雇用 | 在庫 | 入荷遅延 | 受注残 | 仕入価格 | 輸出受注 | 輸入 |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 13/08 | 56.3 | 63.6 | 63.0 | 55.0 | 47.5 | 52.4 | 46.5 | 54.0 | 55.5 | 58.0 |
| 13/09 | 56.0 | 61.3 | 61.2 | 54.8 | 50.0 | 52.7 | 49.5 | 56.5 | 52.0 | 55.0 |
| 13/10 | 56.6 | 61.3 | 60.8 | 54.3 | 52.5 | 54.1 | 51.5 | 55.5 | 57.0 | 55.5 |
| 13/11 | 57.0 | 63.4 | 62.4 | 55.4 | 50.5 | 53.3 | 54.0 | 52.5 | 59.5 | 55.0 |
| 13/12 | 56.5 | 64.4 | 61.7 | 55.8 | 47.0 | 53.7 | 51.5 | 53.5 | 55.0 | 55.0 |
| 14/01 | 51.3 | 51.2 | 54.8 | 52.3 | 44.0 | 54.3 | 48.0 | 60.5 | 54.5 | 53.5 |
| 14/02 | 53.2 | 54.5 | 48.2 | 52.3 | 52.5 | 58.5 | 52.0 | 60.0 | 53.5 | 53.5 |
| 14/03 | 53.7 | 55.1 | 55.9 | 51.1 | 52.5 | 54.0 | 57.5 | 59.0 | 55.5 | 54.5 |
| 14/04 | 54.9 | 55.1 | 55.7 | 54.7 | 53.0 | 55.9 | 55.5 | 56.5 | 57.0 | 58.0 |
| 14/05 | 55.4 | 56.9 | 61.0 | 52.8 | 53.0 | 53.2 | 52.5 | 60.0 | 56.5 | 54.5 |
| 14/06 | 55.3 | 58.9 | 60.0 | 52.8 | 53.0 | 51.9 | 48.0 | 58.0 | 54.5 | 57.0 |

(出所) ISM: the Institute for Supply Management

ISM製造業景気指数 は55.3と前月比0.1% ポイント低下

14年6月のISM製造業景気指数(季節調整値)は、55.3と悪天候からの回復の動きの反動もあり、市場予想に反して、前月比▲0.1%ポイント低下した(市場予想中央値55.9、当社予想56.0)。新規受注が上昇したほか、雇用、在庫が変わらずとなった一方で、入荷遅延、生産が低下した。ただし、重要な項目である新規受注が上昇したうえ、生産も高い水準を維持していることから、ヘッドラインの数字が示すよりも内容は良い。自動車関連だけでなく、他の消費関連、設備投資関連での需要拡大のほか、海外需要回復の動き等を背景に、製造業部門は緩やかな拡大基調を維持している。食品・飲料・タバコでは販売数量の増加基調や消費者の需要拡大が報告された。また、自動車関連部門では鉄の高い需要、販売の好調が指摘されたほか、一般機械では需要の再加速などが報告されており、多くの業種で勢いが強まっている。

総合指数への構成項目別の寄与度をみると、新規受注(前月比+0.40%ポイント)が押し上げ寄与となった一方、入荷遅延(前月比▲0.26%ポイント)、生産(前月比▲2.0%ポイント)が押し下げ寄与となり、総合指数は前月比▲0.1ポイント低下した(雇用、在庫が前月比0.0%ポイント)。

活動の拡大した業種は 15業種と、広がりを持 った拡大に

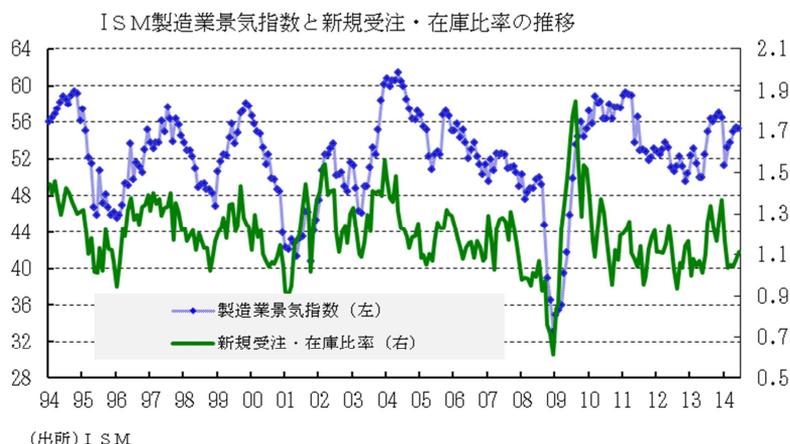
活動の拡大した業種数は、全18業種中15業種(前月17業種)と若干減少も、多くの業種で拡大しており、広がりを持った業況の改善となっている。拡大した業種(拡大を続けた業種には下線)は、家具・同関連製品、非鉄、食品・飲料・タバコ、一般機械、加工金属、コンピューター・電子機器、輸送機械、その他製造業、電気装置・同機器・同部品、アパレル・皮革・同製品、木材製品、印刷・同関連支援、石油・石炭、一次金属、

紙製品。一方、縮小した業種は、繊維、化学製品、プラスチック・ゴムと3業種（前月0業種）に増加した。

（注）下線は拡大を続けた業種

今後のISM製造業景気指数は緩やかな拡大を示す水準で推移する見込み

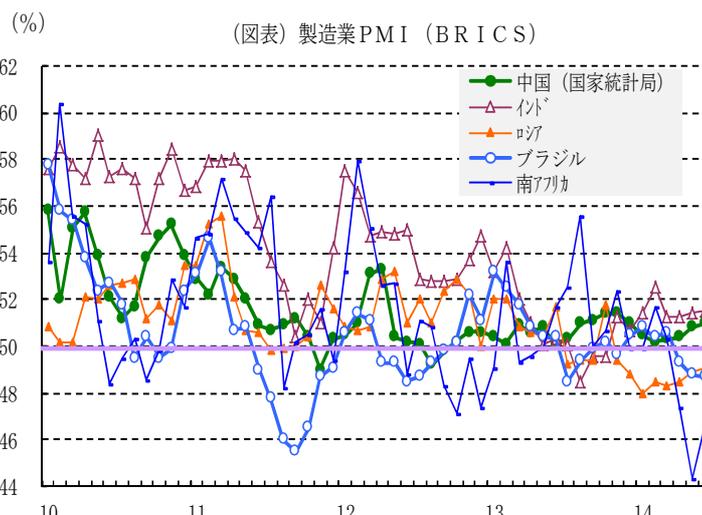
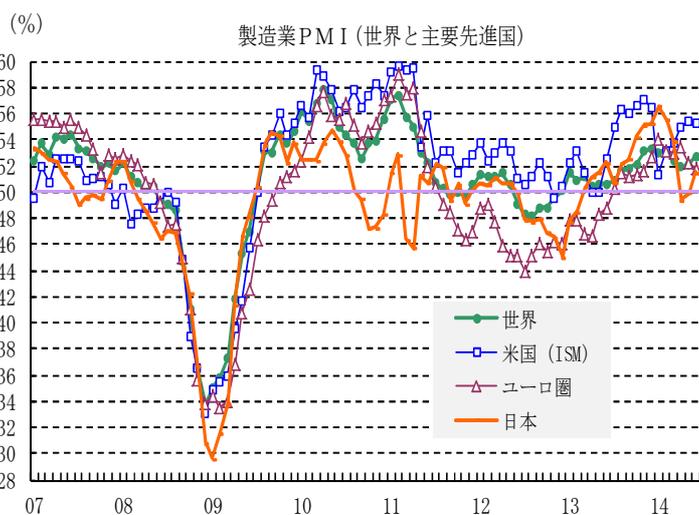
今後に関しては、ISM製造業景気指数は、個人消費を中心に緩やかな成長を維持する国内需要のほか、持ち直しの動きを続ける世界経済などに下支えされ、製造業の緩やかな拡大を示す現在の水準程度で推移する公算が大きい。



6月の世界製造業PMIは上昇したが、水準は高くない

6月の世界製造業PMIは52.7（前月52.1）と前月から上昇し、19ヵ月連続で50を上回った。製造業部門の拡大傾向持続を示しているものの、新興国の弱さを主因に水準は高くない。中国を含むBRICS諸国が全般的に勢いに欠ける状態。

全体で50を下回った国は、ロシア、ブラジル、南アフリカ、ノルウェー、豪州、韓国、トルコなど。一方、50を上回った国は、米国、日本、ユーロ圏、英国、スウェーデン、ポーランド、ハンガリー、中国（国有企業中心）、中国（中小企業中心）、インド、デンマーク、台湾、インドネシア、ベトナム、メキシコなど。ただし、中国、インドなどの水準は高くない。



（出所）ISM、Markit Economics

（出所）Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

輸出の拡大を示唆

上述のような環境のもとで、輸出受注DIは、6月に54.5と前月比▲2.0%ポイント低下したものの、拡大縮小の分岐点である50を19ヵ月連続で上回った。世界的な景気拡大の動き等を背景に、輸出の増加が示唆されている。ただし、世界的な製造業活動の拡大モメンタムは強くないため、輸出の伸びは抑制されている。

各国の米国向け輸出は増加ペース加速も

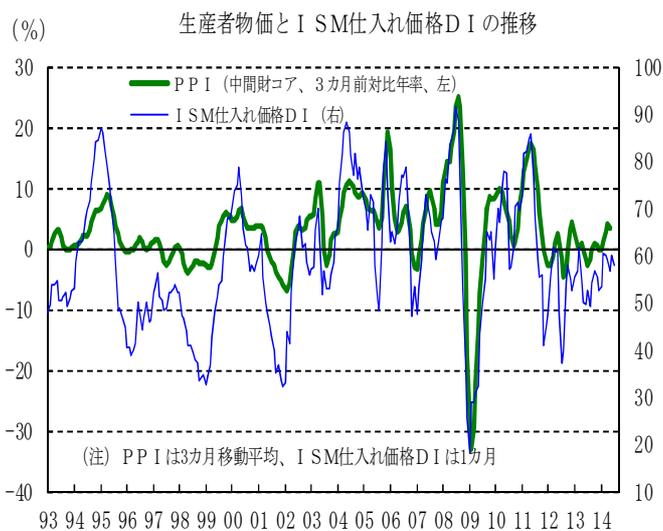
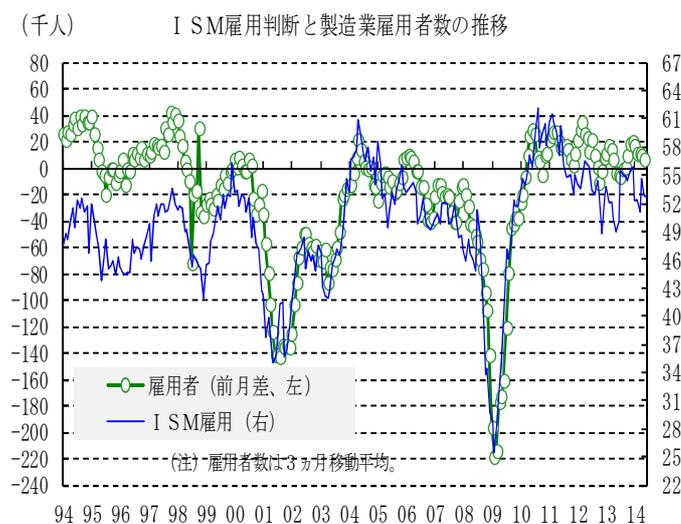
一方、輸入DIは、6月に57.0と前月比+2.5%ポイント上昇し、比較的高い水準を維持していることから、先進国、新興国の米国向け輸出の増加を示唆している。米国内需要の持ち直しの動きを背景に、輸入の増加ペースがやや速まっている模様。

雇用DIは6月の製造業雇用の増加ペースが小幅減速することを示唆

雇用DIは、6月に52.8と前月比横ばいとなり、製造業部門雇用者数（3ヵ月移動平均）の増加ペースの小幅減速を示唆している。激しい価格競争によるコスト削減圧力を背景に、製造業部門での雇用の回復ペースは鈍い状況が続く見込み。

仕入価格DIは川中でのインフレ圧力が限定的であることを示す

仕入価格DIは、エネルギーなどの価格上昇によって、6月に58.0と前月比▲2.0%ポイント低下した。50を上回っているものの、インフレ統計との関係でみると水準が低く、川中でのインフレ圧力は限定的であることを示している。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。